

直播水稻に!

オサキニ[®]

1キロ粒剤

農林水産省登録 第23001号

有効成分：
イマズスルフロン…0.90%
ピリミノバックメチル…0.60%
プロモブチド…9.0%



各種は種様式、散布方法に対応可能!

は種様式

- ① 湛水直播 土中は種
- ② 湛水直播 表面は種
- ③ 乾田直播

散布方法

- ① は種同時散布
- ② 動力散布機による散布
- ③ 無人ヘリコプター散布



湛水直播
土中は種同時散布



湛水直播
表面は種同時散布



◆WCSイネにも使えます!

■適用と使用方法

2019年4月現在の登録内容

■主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	は種時	1kg /10a	1回	は種同時 散布機で施用
		は種直後～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布、 ごく浅く湛水して散布 又は 無人ヘリコプター による散布
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から 再生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

■イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内

湛水直播水稻栽培における **オサキニ** 1キロ粒剤 の上手な使い方

ほ場の整備と水管理

① 耕耘・代かきはいないに

代かきは、水が田面の高い部分が見え隠れする程度の最小限として、少し硬めに行い、代かき終了後の田面の高低差を3～4cmに均平板で仕上げます。枕地、水口、水尻はトラクタの旋回で土壌を練りやすく、かつ低くなるので注意してください。



② 代かき～は種までは3～4日以内で

入水・代かきにより、雑草は発芽の準備にとりかかります。天候によりあつという間に発芽してくるので、長期間おくことは除草剤の効果低下の要因となります。

③ は種後は速やかに入水を

は種作業及びオサキニ1キロ粒剤の「は種同時処理」は潤土状態でいい、終了後できるだけ速やかに入水(浅く湛水)しましょう。
※ただし、水の勢いが強すぎると入水部の種子及び薬剤が流される場合があるので注意してください。

④ 入水後は自然減水で落水状態に

強制落水では薬剤成分が水田外に流出するおそれがあるので、入水後は自然減水で落水状態にしてください。



⑤ 田面が乾燥しすぎないように

出芽揃期頃までは落水管理が基本ですが間断灌水(走り水程度)を行い、田面の水分を保ちましょう。

⑥ 散布適期に湛水状態で一発処理

湛水管理時期になったら、漏水のないことを確認します。イネの生育、雑草の発生状況を確認し、適期に湛水状態で一発処理剤を散布しましょう。

注意



SU抵抗性のアゼナには効果が劣ります。

SU抵抗性アゼナに有効な除草剤「忍剤」などの体系処理で対応可能。

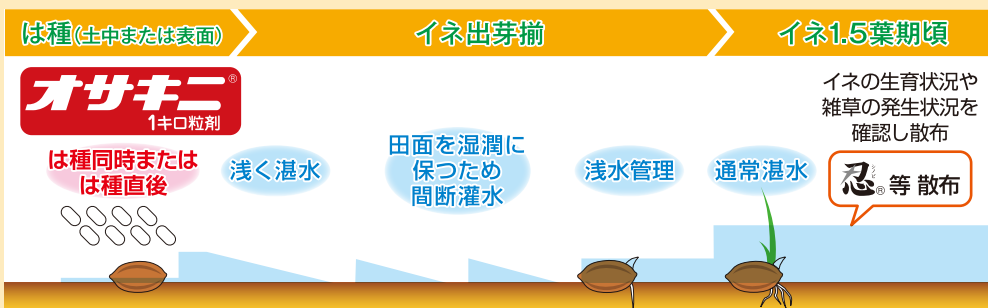
※「忍」の有効成分ピラクロニル、ベンゾピシクロンが効果を発揮します。



ノビエには遅効的です(発生後に枯れます)

オサキニ1キロ粒剤をは種時処理しても、多くの場合ノビエは発生します。しかし強く抑制され葉色も淡く、2葉期前後には枯死します。また一発処理剤の使用で容易に枯れます。

体系処理 ～有効な一発処理剤の散布を～



※図は鉄コーティング表面播種をイメージしています。 ※イネ及び雑草の生育は気象条件、地域により大きく異なります。

雑草の要防除期間(雑草を抑えておきたい期間)は地域や気象条件により大きく異なります。

ノビエやホタルイの発生が長期にわたる地域やSU抵抗性の広葉雑草(アゼナ等)が発生する場合は、オサキニ1キロ粒剤の処理1回では防除が困難です。

オサキニ1キロ粒剤を散布した後、イネが1.5葉期頃に忍剤(1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボ)など有効な一発処理剤を散布してください。

【使用上の注意事項】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて、まきむらが生じないように均一に散布してください。
- 散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 代かき及び均平化作業はいいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいいに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
- 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえてください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①散布は散布機種等の散布基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からは場内に散布してください。

- ⑤水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 乾田直播の場合は、入水後しばらくは漏水が多く、効果不足の出るおそれがあるので、漏水が少なくなってから散布してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤は生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などをを用いては種前または移植前に防除してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

31H4D19013:ZS

2019年4月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP



住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

